

## ナミビア柔道連盟への柔道着寄贈式典の開催 (令和8年7月16日)

令和8年7月16日、麻妻大使は、外務省スポーツ外交推進事業「Sport for Tomorrow」プログラムの一環で、全日本柔道連盟（AJJF）から供与された柔道着 200 着をナミビア柔道連盟に寄贈しました。

式典はウィントフック・ドイツ私立学校（DHPS）で開催され、ンジャベラ教育・イノベーション・スポーツ・芸術文化省スポーツ副局長、ヴォルムスベッヒャー・ナミビア柔道連盟会長代行、プリツィビラ・DHPS 校長のほか、来賓としてパーカー・ナミビア・ナショナル・オリンピック委員会 CEO、星野 JICA ナミビア支所長、ナミビア国際関係・貿易省（MIRT）の関係者の皆様にご臨席いただきました。

麻妻大使は挨拶において、全日本柔道連盟のご厚意と会場提供にご協力いただいた DHPS への謝意を述べるとともに、ナミビア柔道連盟が学校柔道プログラムを通じて地域社会に貢献する人材を育成していることに深い敬意を表しました。あわせて、今回供与された柔道着がナミビアの選手たちの練習環境を改善し、競技力の一層の向上に資することへの期待を述べました。

式典では、柔道連盟メンバーによるデモンストレーションや集合写真撮影が行われ、温かな雰囲気になりました。日本大使館は、スポーツを通じた両国の友好関係の強化に今後も努めてまいります。



集合写真



ナミビア柔道連盟会長代行への贈与証明書の手交



ナミビア柔道連盟メンバーによるデモンストレーション